

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋湿原				開始年度	平成10年度 一般公開	
基本目標	文化財の保護と活用				終了年度		
担当課(局)	社会教育課	担当係	文化係	記入者	山本 格	評価者	東 啓三
20年度決算	1,877	千円	21年度予算	1,928	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	539 千円		21年度人件費	1,020 千円		事業従事者数	0.08 人 0.14 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	貴重な自然環境と希少な植物・昆虫類を保護し、広く一般に公開し、郷土の自然を愛護する。
事業の内容	・高鍋湿原の環境保全と植物・昆虫類の保護のための除草・環境整備作業。 ・高鍋湿原の植物・昆虫類について現地解説。 ・湿原ガイドの養成。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 湿原の環境維持	湿原の環境を維持し、良好な状態で将来へ継承する。
	2 湿原の一般公開	湿原を一般公開し、希少な植物や昆虫類等について観察の機会を提供する。
活動指標	3 ※来場記入者数	来場アンケートへの記入者数 (来場総数のうち記入者数は、約3割程と推測)
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 湿原除草・清掃作業	湿原の環境を維持するために除草作業及び周辺の環境整備作業
	2 観察ガイド活動	湿原見学の団体等に対し、湿原を案内し、植物や昆虫類の解説をおこなう。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	湿原の環境維持	目標値	100	100	100	
		実績値	90	90		
		達成率	90.0%	90.0%		
	湿原の一般公開	目標値	日	214	214	214
		実績値		213	223	
		達成率	%	99.5%	104.2%	
※来場記入者数	目標値	人	4,200	4,200	4,200	
	実績値		7,608	5,493		
	達成率	%	181.1%	130.8%		
活動指標	湿原除草・清掃作業	目標値	日	290	290	240
		実績値		293	298	
		達成率	%	101.0%	102.8%	
	観察ガイド活動	目標値	回	30	30	30
		実績値		36	29	
		達成率	%	120.0%	96.7%	
	0					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	・貴重な昆虫・湿生植物の生息地であり、町が保護活動の主体となるべきもの。 ・湿原の一般公開により数多くの来訪者があり、自然に触れ合う場として好評を博している。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	・通年にわたる細密な維持管理作業により、湿原の形態と植物が良好に保存されている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	・良好な湿原環境が維持されている。 ・県内でも貴重な植物が多くみられる湿原として、来訪者の満足度も高い。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	・高鍋湿原保全会の協力を得て、湿原の保護活動・観察ガイド・同ガイド養成が行なわれている。

事務事業名	高鍋湿原	担当課(局)	社会教育課
-------	------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	環境整備の大半をボランティアに依存しており、文化財の指定も検討されている中において町が積極的に保護活動をする必要がある。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持				○
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎アカウミガメ保護など他事業でも同様だが、後継者については重要な問題と考える。
	コスト	現状維持	